


「探究的な学習活動における IT・データサイエンス活用促進事業」報告書
(「S-TEAM 教育推進事業」外部連携支援事業(四者連携活用型)報告書)

| | |
|------|---|
| 学校名 | 市立札幌旭丘高等学校 |
| 実施日時 | 令和5年2月11日(土) 9:00~12:10 |
| 講師 | (所属) 株式会社ニトリホールディングス (職・氏名) 情報システム改革室 室長 荒井 俊典 様 ほか |
| 実施概要 | <p>1 ねらい</p> <p>北海道民に身近な存在である家具・インテリア販売の「ニトリ」では、どのように「お、ねだん以上。」を実現しているのか。その秘密の一つであるニトリの「デジタル戦略」について、札幌市北区にある株式会社ニトリホールディングス札幌本社で講義とワークショップを通して学び、DX とビジネスの関わりや、DX によって産業や仕事はどう変革されていくのかを実体験することを目的とする。</p> <p>2 日程</p> <p>【2月3日(金)事前学習】(17人参加)</p> <p>16:00 ~ 16:15 事前講義「ニトリの企業説明」 16:15 ~ 17:00 ワークショップの事前準備</p> <p>【2月11日(土)当日】(15人参加)</p> <p>~ 8:50 株式会社ニトリホールディングス札幌本社集合 9:00 ~ 10:00 ニトリ麻生店、札幌本社見学 10:00 ~ 10:30 講義「ニトリのデジタル戦略」 10:40 ~ 12:10 ワークショップ「ニトリアプリをより便利に」</p> <p>【事後学習】Google Classroom を利用して、アンケートと課題の提出</p> <p>3 講義、研修等の概要</p> <p>(1) 店舗と本社を見学「現場での DX 活用について学ぶ」</p> <p>① <u>店長からの説明</u>：「業務用スマホでの業務管理」「お客様セルフレジ」「バックヤードの在庫管理」「店内で使えるニトリアプリ」などを活用し業務の効率化・時短化が進んだことの説明を受け『現場の業務に与える効果』を学んだ。</p>  <p>② <u>コールセンター見学</u>：「オペレーターの対応評価への AI 活用」「そのシステムの自社開発の経緯」などの説明を受け、生徒からは「どうして大きなリスクを冒してシステムの自社開発に挑戦したのか?」「最終的にはすべて AI が担うようになるのか?」などの質問が相次いだ。『AI を活用する部分と人が行うべき部分がある』ということ学んだ。</p> <p>③ <u>情報システム改革室見学</u>：デジタル戦略の中核の機能について説明を受けた。世界中の店舗の「購買状況・収益・アプリ使用状況・天候・サイバー攻撃」などを一元的に管理・分析・判断・指令・防御をしており、そこに関わる 400 人の技術者の役割・スキルについて説明を受けた。ビジネス分野でデジタルテクノロジーを活用するとはどういうことかを実感する体験となった。</p> |

(2) 講義「デジタル戦略とデータサイエンス活用について」

情報デジタル改革室室長の荒井様より、ニトリが世界 801 店舗に拡大する過程での、「理念とビジョン」「データに基づく戦略の立て方」「IT化」「AIの活用」「サイバーセキュリティ」についてお話いただいた。その中で『デジタルはあくまで道具。ニトリの店舗・商品・お客様に興味がない人はいくらデジタルスキルを持っていても活躍できない』『今、すべての企業が DISRUPT（激変）に直面している』『ロマン（簡単には叶えられないもの）を常に持って、ビジョン（実現への道筋）を立てる』といった企業を成長させるうえで大切な精神も学んだ。



(3) ワークショップ「ニトリアプリをより便利に」

テーマは「ニトリアプリを分析して、より便利になるために、あったらいいなと思う機能を提案しよう」。ニトリの新人研修でも行っている活動の一つだそう。班ごとに他社アプリと比較し、機能の特徴やアイデアをワークシートに張っていく。議論を通して提案内容を考え、発表を行った。



<生徒から出た意見>

- ・ニトリアプリは機能が多い点が良い
- ・しかし、機能が多すぎて探せないのが改善点
- ・商品のお客様レビューを見る機能があったら良い

など、多くの忌憚ない意見が出た。アプリ開発担当の社員も来ており、直にコメントをもらうなど、生徒にとっては大変よい経験となった。

4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）

学校では情報 I と SDS 基礎（探究活動を行う学校設定科目）で、情報リテラシー、プログラミング、データサイエンスの基礎を学び、応用的に探究活動もしてきたが、実際の企業で IT や AI がどのように活用されてビジネスに変化を起こしているのかを知る貴重な機会となった。生徒は「テクノロジー駆動型 (Society 5.0) の社会に足を踏み込んでいる現在、どのような業種においても DX を活用する必要がある」ことを実感しているようだった。また、協働的にワークを行い発表をしたことで、単なる見学・座学に終わらず能動的な経験となった。以下に、生徒の感想とアンケート結果を掲載する。

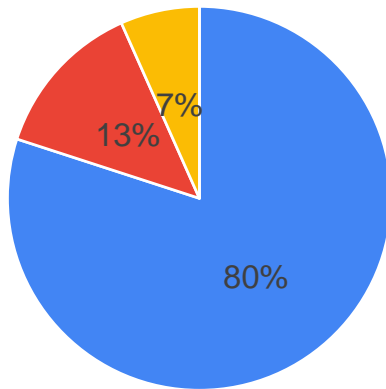
<生徒の感想>

- ◆ニトリはあまり IT のイメージがなかったけど、実際はアプリをはじめ、発注の全自動化など徹底して使っていて意外だった。企業の裏側を見るのは楽しかった。
- ◆本社見学では、コールセンターや情報システム改革室などを見学させていただき、デジタルへの取り組みや巨大ディスプレイを活用した作戦室など、とても興味深かった。
- ◆店舗では、商品が配置されている場所にも戦略があることを知りました。
- ◆コールセンター見学で、AI に任せる部分とあえて人がやっている部分があるということを知ってデジタルとアナログが美しい形で結ばれていると思いました。
- ◆自分たちなりに考えをまとめて発表できたのはすごくいい経験になった。DX を駆使したデジタル戦略を知れて、社会生活におおいに役立つ体験だなと思った。

<アンケート>

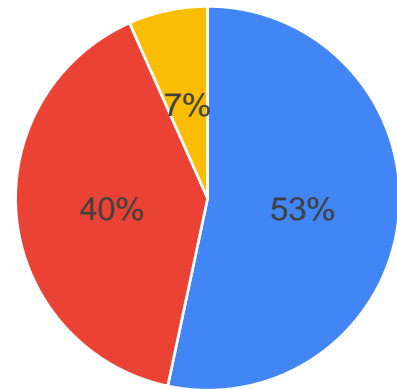
Q1. 内容に興味をもって楽しめたか

- ・ ■ 非常に興味深く楽しめた
- ・ ■ ある程度興味をもてた
- ・ ■ 興味をもてる内容が少なかった
- ・ ■ 全く興味をもてなかった



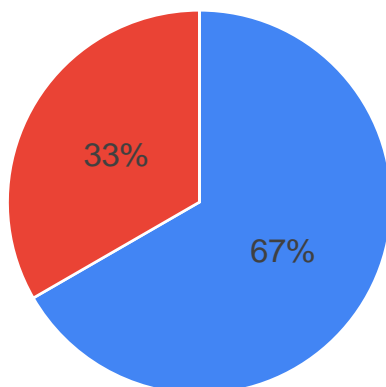
Q2. あなたの理解度・講座の難易度は？

- ・ ■ とてもよく理解できた
- ・ ■ ある程度理解できた
- ・ ■ やや難しかった
- ・ ■ とても難しかった



Q3. 新しい発見があったか

- ・ ■ 多くの新しい発見があった
- ・ ■ いくつかの新しい発見があった
- ・ ■ 知っている内容が多かった
- ・ ■ すべて知っている内容だった



Q4. この講座が将来に役立つと感じるか

- ・ ■ おおいに感じる
- ・ ■ 少し感じる
- ・ ■ どちらとも言えない
- ・ ■ あまり感じない
- ・ ■ 全く感じない

